

デジタルサイネージソリューション NMstage

品番 AF-NMCT32XG

もくじ	ページ
はじめに	2
表記について	3
各部の名称とはたらき	4
準備	5
セットアップ	10
スタンドアロンで使用する	16
管理サーバーに登録して使用する ..	24
設定を変更する	28
起動する・終了する	35
マルチディスプレイ環境.....	37
困ったときには	42
主な仕様	44
対応コンテンツ仕様	46

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は、大切に保管してください。

はじめに

本書は、NMコントローラーのセットアップ手順、起動および終了手順、設定変更について説明しております。

ご使用になる前に必ず一読し、正しい使い方をしていただきますようお願いします。

■ 商標

- Microsoft[®]、Windows[®]、Internet Explorer[®]、Windows Media[®]、および PowerPoint[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel[®]、Core™ は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
- Adobe[®]、Flash[®] および Flash Player は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の登録商標または商標です。
- AMD、ATI、ATI 製品名及びその機能、ならびにその組み合わせは Advanced Micro Devices, Inc. の商標及び登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
- 本製品に含まれているソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、ならびに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。
- NMstage は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■ 著作権

NMコントローラーのプレーヤーソフトウェアには、ログ検索など一部の機能でデータを圧縮・解凍するため、UNLHA32.DLL for Win32 Ver 1.86c を使用しており、著作権は Micco が保有しています。その他のプレーヤーソフトウェアは、パナソニック株式会社が著作権を保有しております。

■ 名称等の表記



本書では名称等を以下のように表記します。

- [Windows Embedded Standard 7]を[Windows 7]と表記します。

表記について

■ 表記とマーク

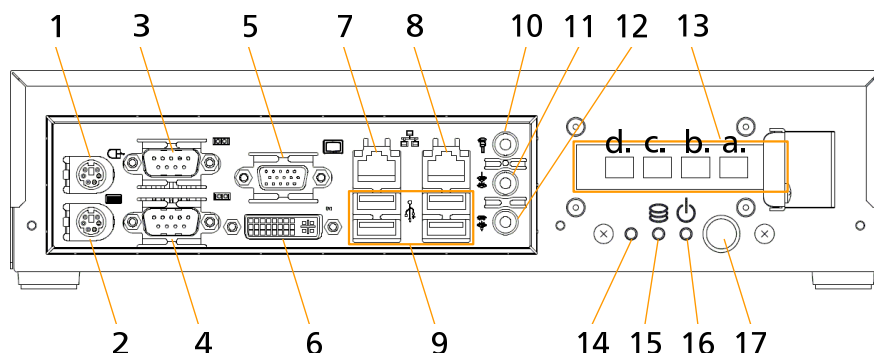
本書で使用されている表記とマークについて説明します。

分類	用語	意味
マウス	クリック	操作の対象上で、マウスの左ボタンを1回押して離す操作を表します
	右クリック	操作の対象上で、マウスの右ボタンを1回押して離す操作を表します
	ダブルクリック	操作の対象上で、マウスの左ボタンを2回押して離す操作を表します
	ドラッグ	操作の対象上で、マウスの左ボタンを押したまま、移動する操作を表します
	ドラッグ&ドロップ	操作の対象をドラッグし、マウスの左ボタンを目的の位置で離す操作を表します
キーボード	キー	囲みで記載します ex.) Ctrlキー Ctrl
	2つ以上のキーを同時に押す	+でつないで記載します ex.) Ctrlキーを押しながらAltキーを押す Ctrl + Alt
全体		誤った取り扱いをしないための注意事項や操作上の制限事項を記載しています
		操作のアドバイスや関連事項を記載しています
	参照先	他ページを参照する場合の参照先を【】で記載します
	ボタン、タブ	『』で記載します
	操作画面の表示項目	「」で記載します

各部の名称とはたらき

■ 背面各部

背面のインターフェイス、ランプ、スイッチについて記述します。



- | | |
|------------------------------------|--|
| 1. PS/2 マウス | 10. マイク入力 |
| 2. PS/2 キーボード | 11. Line - in (オーディオ入力) |
| 3. シリアルポート 2 | 12. Line - out (オーディオ出力) |
| 4. シリアルポート 1 | 13. 増設グラフィックカード* ² * ³ |
| 5. アナログ RGBディスプレイポート* ¹ | Mini DisplayPort コネクタ x 4* ⁴ |
| 6. DVI-Iディスプレイポート* ¹ | 14. (本装置では使用しておりません) |
| 7. LANコネクタ(Intel) | 15. ハードディスクアクセスランプ |
| 8. LANコネクタ(REALTEK) | 16. 電源ステータスランプ |
| 9. USBポート x 4 | 17. 電源スイッチ |

*1 本製品では、「アナログ RGB」および「DVI-I」ディスプレイポートは、使用いたしません。

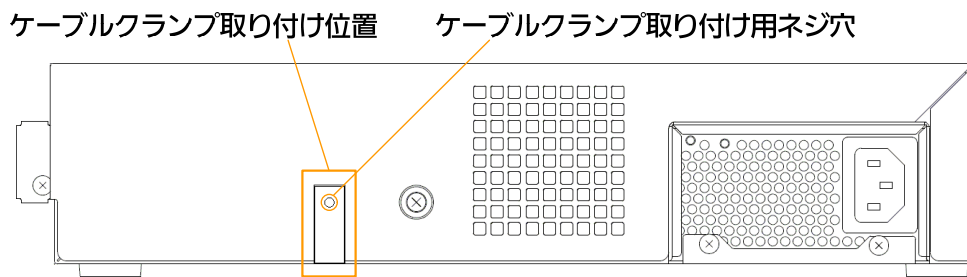
*2 複数のディスプレイを接続する場合は、[a,b,c,d]の順に接続してください。

*3 マルチディスプレイ環境で使用する場合の設定方法については、37ページの【[マルチディスプレイ環境](#)】をご参照ください。

*4 Mini DisplayPortコネクタの仕様上、コネクタをロックする機能はありません。必要に応じてケーブルを固定するなどの処置を取ってください。

■ ケーブルクランプ取り付け位置

側面のケーブルクランプ取り付け位置について記述します。



- 電源コードを固定する場合、上記のケーブルクランプ取り付け位置に、付属のケーブルクランプとクランプ用ネジを用いて固定してください。

準備（1）

NMコントローラーは、動作モードを切り替えることで、標準 NMstage（管理サーバー使用）モードとスタンドアロン（管理サーバーなし）モードのどちらでもご利用できるようになっています。

ご購入後の初期起動状態と、動作モードの切り換え手順について説明します。



- スタンドアロンモードは、マルチディスプレイ環境には対応していません。

初期起動状態について

NMコントローラーご購入後、電源を投入すると、専用のプレーヤーソフトウェアがスタンドアロンモードで起動します。スタンドアロンモードでご利用される場合は、そのままの状態でご使用いただけます。



- ネットワーク設定の初期値は、「IP アドレスを自動的に取得する(O)」に設定されています。ネットワーク設定の変更方法は 11 ページ【[■ ネットワークの設定](#)】をご参照ください。
- 画面解像度の初期値は、1920x1080に設定されています。画面解像度の変更方法は 14 ページの【[■ 画面解像度の変更](#)】、37 ページの【[■ マルチディスプレイ環境](#)】をご参照ください。
- スピーカー音量設定の初期値は、「66 %」に設定されています。スピーカー音量の変更方法は 15 ページの【[■ スピーカー音量設定の変更](#)】をご参照ください。

マルチディスプレイ環境について

マルチディスプレイ環境で運用される場合は、必ず、販売店にご相談ください。複数のディスプレイを接続して、マルチディスプレイ環境でご利用される場合、Eyefinity ディスプレイグループの設定を行い、画面全体が1つのデスクトップとして扱われるようにしてください。Eyefinity ディスプレイグループの設定については、37 ページの【[■ マルチディスプレイ環境](#)】をご参照ください。



- マルチディスプレイ環境でご利用される場合、動画、テロップの表示品質が悪くなる場合があります、事前に表示品質をご確認の上でご利用ください。また、設定調整については、販売店にご相談ください。
- 付属の Mini DisplayPort to DVI 変換ケーブルでは、異なったメーカーまたは型番のディスプレイで 3 面以上の表示はできません。3 面以上のディスプレイ接続をご検討の場合は、販売店にご相談ください。
- 拡張、クローンディスプレイモードによるマルチディスプレイ表示には対応していません。

準備（2）

動作モードの切り替えについて

■ 標準 NMstage モードへの切り替え手順

スタンドアローンモードから標準 NMstage モードへの切り替え手順を説明します。



- 標準 NMstage モードへの切り替えを行うと、スタンドアローンモードで登録されたコンテンツは削除されます。

STEP 1 現在、動作しているプレーヤーソフトウェアを終了します。
プレーヤーソフトウェアを終了するには、キーボードの **Ctrl** + **Alt** + **E** を同時に押してください。

STEP 2 画面が全面黒の状態になったら、マウスの左ボタンをダブルクリックしてください。
黒画面が解除されて、Windowsのデスクトップ画面が表示されます。



- デスクトップ画面が表示されない場合は、**Ctrl** + **Alt** + **Del** を押して、タスクマネージャを表示して、プロセスタブから、「DriveWatch.exe」を選択して、プロセスの終了を行ってください。

STEP 3 デスクトップ上の「標準 NMstageに切り替え」アイコンをダブルクリックします。



STEP 4 確認メッセージが表示されますので、『OK』ボタンをクリックしてください。
切り替えが完了すると、「自動コンフィグモードに切り替えました。」のメッセージが表示されますので、『OK』ボタンをクリックして終了してください。

STEP 5 Windowsのスタートメニューより NM コントローラーを再起動します。
NM コントローラーが再起動すると、標準 NMstage モードで起動します。

準備（3）

■ スタンドアローンモードへの切り替え手順 1

標準 NMstage モードで、下記 **STEP 1** の画面のように自動コンフィグレーションソフトウェアが起動している状態からの切り替え手順を説明します。



- スタンドアローンモードへの切り替えを行うと、標準 NMstage モードで登録されたコンテンツは削除されます。



- 標準 NMstage モードで、既に自動コンフィグ処理を完了している場合、プレーヤーソフトウェアが起動しています。この状態からの切り替え手順については、9ページの【[■ スタンドアローンモードへの切り替え手順 2](#)】をご参照ください。

STEP 1 現在、動作している自動コンフィグレーションソフトウェアを終了します。

自動コンフィグレーションソフトウェアを終了するには、画面下部 (①) にマウスカーソルを合わせ、クリックしてアクティブ状態で、キーボードの **Ctrl + Alt + E** を押してください。



STEP 2 マウスの左ボタンをダブルクリックしてください。

黒画面が解除されて、Windowsのデスクトップ画面が表示されます。

STEP 3 表示されているコマンドウィンドウ (②) について、ウィンドウ右上の『×』をクリックして終了してください。

準備（４）

STEP 4 デスクトップ上の「スタンドアローン NMstageに切り替え」アイコンをダブルクリックします。



STEP 5 確認メッセージが表示されますので、『OK』ボタンをクリックしてください。切り替えが完了すると、「スタンドアローンモードに切り替えました。」のメッセージが表示されます。

STEP 6 Windowsのスタートメニューより NMコントローラーを再起動します。NMコントローラーが再起動すると、スタンドアローンモードで起動します。

準備（5）

■ スタンドアローンモードへの切り替え手順 2

標準 NMstage モードで自動コンフィグ処理が完了し、プレーヤーソフトウェアが起動している状態からの切り替え手順を説明します。



- スタンドアローンモードへの切り替えを行うと、標準 NMstage モードで登録されたコンテンツは削除されます。



- 標準 NMstage モードで自動コンフィグ処理を行っていない場合は、自動コンフィグレーションソフトウェアが起動しています。この状態からの切り替え手順については、7ページの【[スタンドアローンモードへの切り替え手順 1](#)】をご参照ください。

STEP 1 現在、動作しているプレーヤーソフトウェアを終了します。

プレーヤーソフトウェアを終了するには、キーボードの **Ctrl** + **Alt** + **E** を同時に押してください。

STEP 2 画面が全面黒の状態になったら、マウスの左ボタンをダブルクリックしてください。黒画面が解除されて、Windowsのデスクトップ画面が表示されます。

STEP 3 デスクトップ上の「スタンドアローン NMstageに切り替え」アイコンをダブルクリックします。



STEP 4 確認メッセージが表示されますので、『OK』ボタンをクリックしてください。切り替えが完了すると、「スタンドアローンモードに切り替えました。」のメッセージが表示されます。

STEP 5 Windowsのスタートメニューより NMコントローラーを再起動します。NMコントローラーが再起動すると、スタンドアローンモードで起動します。

セットアップ（1）

ネットワーク設定、画面解像度設定、スピーカー音量設定など、システムに関する設定の変更手順について説明します。システム運用を開始する前に、必要に応じて設定を行ってください。

■ 不正アクセス防止機能

Cドライブへの不正書き換えを防止するため、NMコントローラーには、ロック機能が備わっています。システムに関する設定の変更を行う場合、必ずロックを解除してから変更を行ってください。また、変更が完了したあと、必ずロックを有効な状態に戻してください。



- NMコントローラー初期起動時には、Cドライブのロックが有効になっています。
- ロックが有効な状態で、システムに関する設定の変更を行った場合、変更内容は一時的に反映されますが、NMコントローラーを再起動すると、変更内容は破棄されます。

■ ロック操作方法

ロック解除から、システム設定の変更、再ロックの手順について説明します。

STEP 1 ロックを解除する場合、一旦 NMコントローラーを再起動します。

STEP 2 再起動後、プレーヤーソフトウェアを終了し、デスクトップ上の「ロック解除」アイコンをダブルクリックします。

ロック解除処理後、NMコントローラーが自動で再起動されます。



STEP 3 再起動後、システムに関する設定の変更を行ってください。



- 個々の設定変更手順については、次ページ以降の項目をご参照ください。

STEP 4 設定変更後、デスクトップ上の「ロック」アイコンをダブルクリックします。
NMコントローラーが自動で再起動されます。



セットアップ（2）

■ ネットワークの設定

ネットワークの設定手順について説明します。

スタンドアローンモードでは、ネットワークの設定は必要ありません。



- ネットワークの設定を変更する場合、必ずロックを解除した後に実行してください。また変更後にはロックをしてください。ロックの解除およびロックの方法は、10ページの【[不正アクセス防止機能](#)】をご参照ください。

STEP 1 現在、動作しているプレーヤソフトウェアを終了します。

プレーヤソフトウェアを終了するには、キーボードの **Ctrl** + **Alt** + **E** を同時に押してください。

STEP 2 画面が全面黒の状態になったら、マウスの左ボタンをダブルクリックしてください。黒画面が解除されて、Windowsのデスクトップ画面が表示されます。



- 自動コンフィグレーションソフトウェアが起動している場合のソフトウェア終了方法については、7ページの【[スタンドアローンモードへの切り替え手順1](#)】をご参照ください。

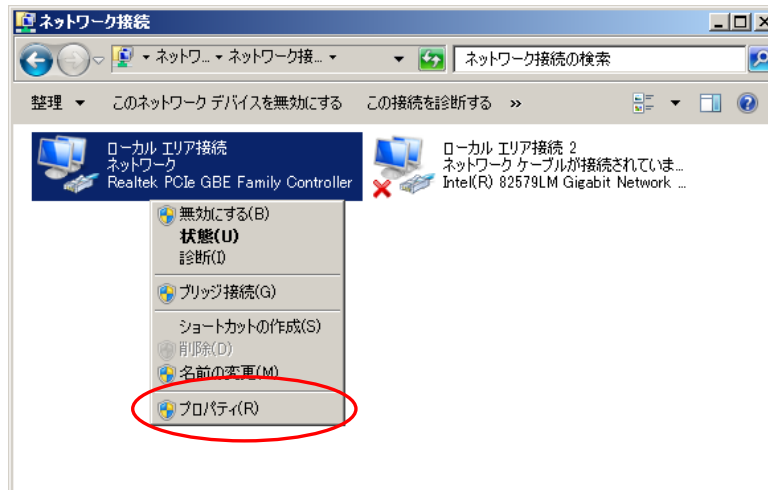
STEP 3 「スタート」→「コントロールパネル」を選択し、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順にクリックします。

STEP 4 「アダプターの設定の変更」をクリックします。



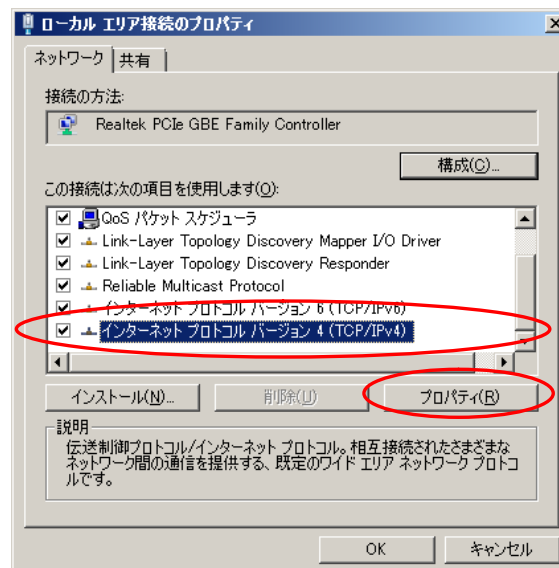
セットアップ (3)

STEP 5 「ローカルエリア接続」にカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「プロパティ(R)」を選択します。



- 本機には、2つの LAN コネクタがあります、どちらのコネクタを使用しているかは、4ページの【[背面各部](#)】の説明を参考にしてください。

STEP 6 『ネットワーク』タブから「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、『プロパティ(R)』をクリックします。



セットアップ（4）

STEP 7 「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ」で以下の設定を行って設定が完了したら『OK』をクリックします。

- 固定 IP アドレスを付与する場合

「次の IP アドレスを使う(S)」を選択し、以下の項目を入力してください。

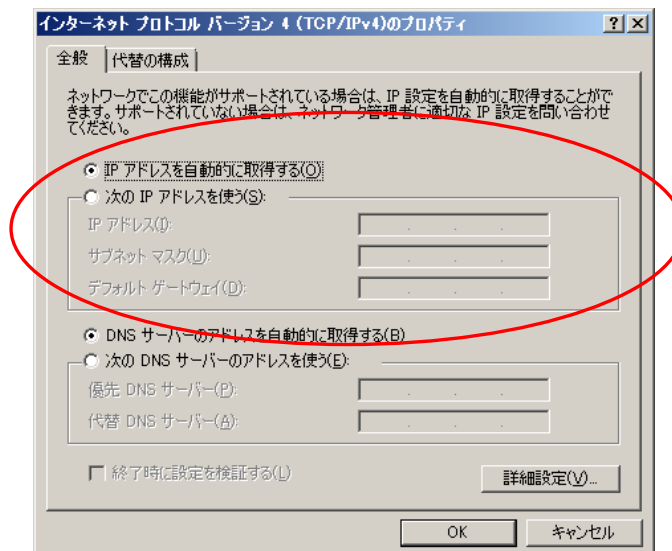
IP アドレス(I) : NM コントローラーの IP アドレス

サブネットマスク(U) : NM コントローラーが接続している環境のサブネットマスク

デフォルトゲートウェイ(D) : ルーターの IP アドレス

- DHCP サーバーで自動的に付与する場合

「IP アドレスを自動的に取得する(O)」を選択します。



STEP 8 Windows デスクトップ上の「ロック」アイコンをダブルクリックします。
NM コントローラーが自動で再起動されます。

以上でネットワーク設定の変更は完了です。

セットアップ（5）

■ 画面解像度の変更

NMコントローラーの画面解像度は、1920x1080に設定されています。画面解像度を変更して運用される場合は、画面のプロパティで解像度を変更した後、プレーヤーソフトウェアの設定情報も合わせて変更する必要があります。

マルチディスプレイ環境で使用する場合の設定方法については、37ページの【[■ マルチディスプレイ環境の設定](#)】をご参照ください。



- 画面解像度を変更する場合、必ずロックを解除した後に実行してください。また変更後にはロックをしてください。ロックの解除およびロックの方法は、10ページの【[■ 不正アクセス防止機能](#)】をご参照ください。
- 拡張、クローンディスプレイモードによる、マルチディスプレイ表示には対応していません。

STEP 1 現在、動作しているプレーヤーソフトウェアを終了します。

プレーヤーソフトウェアを終了するには、キーボードの **Ctrl** + **Alt** + **E** を同時に押してください。

STEP 2 画面が全面黒の状態になったら、マウスの左ボタンをダブルクリックしてください。黒画面が解除されて、Windowsのデスクトップ画面が表示されます。



- 自動コンフィグレーションソフトウェアが起動している場合のソフトウェア終了方法については、7ページの【[■ スタンドアロンモードへの切り替え手順1](#)】をご参照ください。

STEP 3 デスクトップ画面で右クリック「画面の解像度(C)」を選択します。「画面の解像度」の設定画面が表示されますので、目的の画面の解像度に変更してください。

STEP 4 プレーヤーソフトウェアの設定情報を削除します。
以下の対象ファイルを削除してください。

対象ファイル：「D:¥NM¥DEF¥DisplaySizeChange.ini」

STEP 5 再起動後、**STEP 1**、**STEP 2**と同様の手順で、「画面の解像度」の設定画面を開き、画面解像度が正しく設定されていることを確認してください。

以上で画面解像度の変更は完了です。

セットアップ（6）

■ スピーカー音量設定の変更

NMコントローラーのスピーカー音量設定の初期値は、「66 %」に設定されています。スピーカー音量の変更手順について説明します。




- スピーカー音量を変更する場合、必ずロックを解除した後に実行してください。また変更後にはロックをしてください。ロックの解除およびロックの方法は、10ページの【[不正アクセス防止機能](#)】をご参照ください。

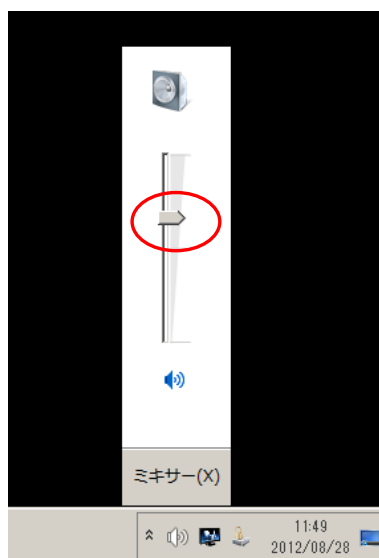
STEP 1 現在、動作しているプレーヤーソフトウェアを終了します。
プレーヤーソフトウェアを終了するには、キーボードの **Ctrl** + **Alt** + **E** を同時に押してください。

STEP 2 画面が全面黒の状態になったら、マウスの左ボタンをダブルクリックしてください。黒画面が解除されて、Windowsのデスクトップ画面が表示されます。



- 自動コンフィグレーションソフトウェアが起動している場合のソフトウェア終了方法については、7ページの【[スタンドアロンモードへの切り替え手順1](#)】をご参照ください。

STEP 3 タスクバーの右下のスピーカーアイコン  を左クリックしてください。
表示された音量レベルバーを操作して、音量レベルを変更してください。



以上でスピーカー音量設定の変更は完了です。

スタンドアローンで利用する（1）

NMコントローラーをスタンドアローン（サーバーなし）モードで使用する際の、使用方法について説明します。



- スタンドアローンモードは、マルチディスプレイ環境には対応していません。

■ コンテンツの登録手順

STEP 1 登録するコンテンツファイルを別途用意した USB メモリや USB ハードディスク（以下 USB ディスク）のルート（G:¥など）にコピーしてください。



- サブフォルダ内のファイルは、登録されません。
- 接続時に特殊なプログラムが自動的に起動するタイプの USB ディスクは使用しないでください。

STEP 2 コンテンツをコピーした USB ディスクを、NM コントローラーに接続します。USB ディスクの接続が確認されると、現在の放映が停止し、コンテンツの登録が始まります。登録処理中は、下画面が表示されますので、その間は、USB ディスクを抜かないでください。



スタンドアローンで利用する（2）

STEP 3 コンテンツの登録が完了すると、「USBを抜いてください。NMコントローラーを再起動します。」とメッセージが表示され、自動的に再起動されます。
このメッセージ表示中に必ず USBディスクを抜いてください。



- USBディスクを差したままにしておきますと、「起動→放映→コピー→再起動」という動作が連続してしまい、正しく放映できません。
- コンテンツ登録時、ごく希にコピーが実施されない場合があります。端子の接触等の問題ですので、再度抜き差ししてください。

STEP 4 再起動後、登録したデータの放映を開始します。

スタンドアローンで利用する（3）

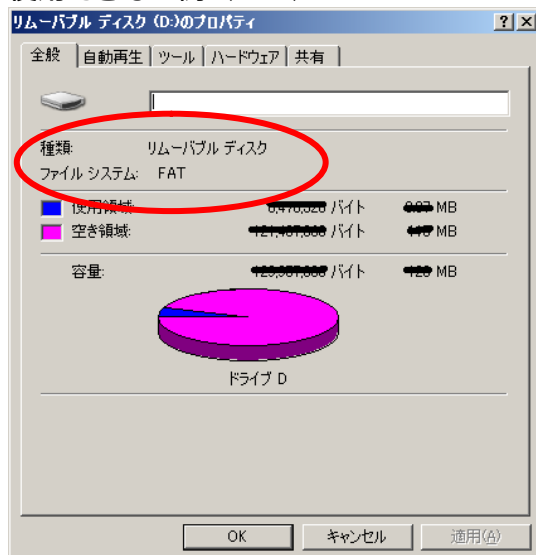
■ USB ディスクについて

ご使用される USB ディスクにつきましては一部の機種で正しく読み込まれない現象が発生することがあります。古いタイプの USB ディスクで、フォーマット形式が FAT32 又は NTFS 以外のものや、仮想 CD モードがある特殊な USB ディスクは正しく動作しない場合があります。

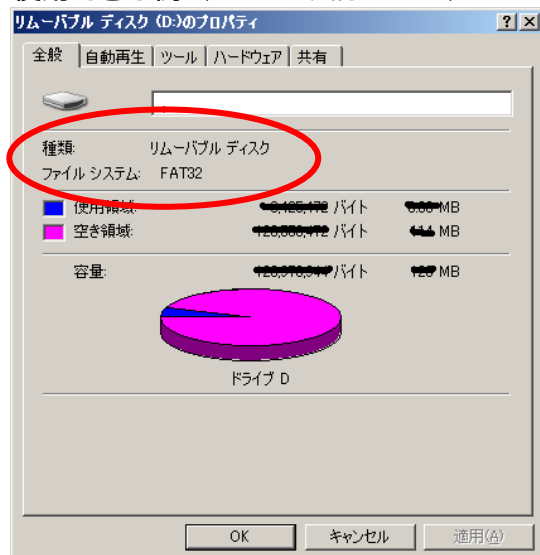
最近の USB2.0 のものをご使用の上、本運用前に事前の動作確認をよろしくお願いいたします。

2G バイト未満の USB メモリの中には下記のような FAT (FAT16) 形式でフォーマットされたディスクがあり、このような USB ディスクは正常に認識されません。(FAT16 はフロッピーディスクとして更新対象から除外しているためです。)

使用できない例 (FAT)



使用できる例 (FAT32 又は NTFS)



- USB ディスクのフォーマット形式はマイコンピュータにて USB メモリドライブを右クリックし、プロパティを選択すると下記画面が表示されます。
- FAT の場合には、FAT32 でフォーマットし直すことで、正常に動作します。

スタンドアロンで利用する（４）

■ 登録コンテンツファイルについて

スタンドアロンモードで登録されるコンテンツの種類は、静止画（JPEG,BMP）、動画（WindowsMedia,MPEG1,MPEG2）、アニメーション（Flash）、パワーポイントスライドショー（PPS）のファイルで、ファイルの拡張子が下記の表のものです。また、ファイル名が半角 132 文字を超えるファイル名のファイルは登録されません。

種別	フォーマット形式	拡張子	備考
静止画	BMP	bmp	
	JPEG	jpg, jpeg	
動画	WindowsMedia	wmv	
	WindowsMedia HD	wmv	
	MPEG1	mpg, mpeg	
	MPEG2	mpg, mpeg, mp2	※1
アニメーション	Flashアニメーション	swf	
パワーポイント	パワーポイントスライドショー	pps	※2

※1：MPEG2-TS, HD(720P以上)には対応しておりません。

※2：パワーポイントの「ppt、pptx、ppsx」ファイルには対応しておりません。



- 標準 NMstage モードで使用できる、HTML/URL コンテンツは、スタンドアロンモードでは使用できません。
- パワーポイントスライドショーは全画面専用です。テロップとの組み合わせ表示はできません。
- ビットレートの高い動画やCPUに負荷のかかるFlashやパワーポイントは正常に表示されない場合があります。WMV動画などに変換してご使用ください。



- コンテンツ仕様については、46ページの【[対応コンテンツ仕様](#)】もあわせてご参照ください。

スタンドアローンで利用する（5）

■ コンテンツの表示順、登録数について

コンテンツの表示順は、ファイル名の ASCII コード昇順になり、その順序で繰り返し表示されます。この際、大文字・小文字もそのまま判断しますので、大文字ファイル名のファイルが先になります。

登録可能なコンテンツ数は、80 個までです。以降のファイルは登録されません。



- ASCII コード昇順によるソートは、エクスプローラーでの名前順ソートとは異なる結果となりますので、ご注意ください。



- ASCII コードでのファイル名ソートは、大文字・小文字もそのまま判断しますので、大文字ファイル名のファイルが先になります。

■ コンテンツの表示時間について

表示時間の指定は、ファイル名での指定が可能で、ファイル名の最後（拡張子の前）に“-DT”を入れて、表示秒数を指定します。指定できる時間は 10 秒～86,399 秒の間です。

(例: test-DT20.jpg ⇒ 表示時間 20 秒)

ファイル名での指定が無ければ、動画コンテンツの場合、動画ファイルの時間（長さ）が自動的に、その他のコンテンツは、15 秒に設定されます。



- 表示時間が範囲外の値の場合は、10 秒または 86,399 秒となります。
- 登録コンテンツの合計時間が、24 時間（86,399 秒）を超えた場合、以降のファイルは登録されません。

スタンドアローンで利用する（6）

■ パワーポイントスライドショーの表示時間について

ご使用頂けるパワーポイントは、パワーポイント 2003 スライドショー形式(*.pps)のみです。パワーポイント 2007以降のスライドショー形式(*.ppsx)は使用できません。パワーポイントスライドショーの表示は全画面専用です。テロップとの組み合わせ放映はできません。組み合わせ放映した場合、スライドの途中で切り替わらなくなるなどの現象が発生します。

「画面の切り替え」で「画面の切り替えタイミング」の自動切り替え時間を設定しても、「効果」をつけると、切り替わりのための効果の時間がかかり、スライドショー全体の表示時間は長くなりますので、放映時間の計算に際してご注意ください。

例) スライド 6 枚で 10 秒切り替え

効果無し：約 60 秒

効果あり：約 69 秒



- 表示時間の増加時間は、スライドの内容、効果の種類で異なります。実際にスライドショー表示を行って確認してください。
- パワーポイントを制作したパソコンのフォントの一部は、NM コントローラーでは表示できない場合があります。NM コントローラーでの放映内容を事前に確認頂き、放映可能なフォントを選択してください。

■ コンテンツの表示領域について

コンテンツの表示領域の設定は、コンテンツ登録時の NM コントローラーの画面解像度から自動的に設定されます。NM コントローラーの画面解像度を変更した場合は、再度コンテンツの登録を行ってください。



- ディスプレイ側でこの解像度に対応していない場合、表示画角がずれる場合があります。このような場合には、ディスプレイ側の「水平、垂直のサイズ、位置」の設定を調整してください。
- ディスプレイによっては、表示されない場合があります。その場合には、販売店までお問い合わせください。



- 画面解像度の初期値は、1920x1080に設定されています。
- 解像度の変更方法は 14 ページの【[画面解像度の変更](#)】をご参照ください。

スタンドアローンで利用する（7）

■ テロップの表示について

USBディスクにテキストファイル(*.txt)がある場合は、その内容をテロップとして常時表示します。

テキスト内の改行は自動的に削除して表示しますが、文字数の最大は全角で1,000文字までとなります。

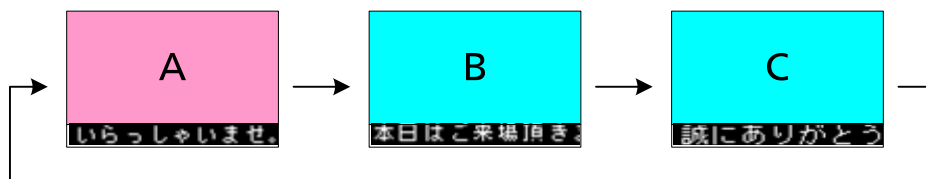
テロップは登録したコンテンツの総表示時間で表示を行います。（例：15秒の静止画一つだけを登録した場合は、テロップは15秒毎に頭から表示し直されます。）



- パワーポイントスライドショーを使用する場合は、テロップは登録しないでください。パワーポイントのスライドショーが正しく表示されません。
- テキストファイルは、USBディスクに2つ以上置かないでください。

【テロップの表示時間の例】

テロップは、コンテンツのループの周期で、先頭コンテンツに戻るタイミングで先頭文字列から表示されます。



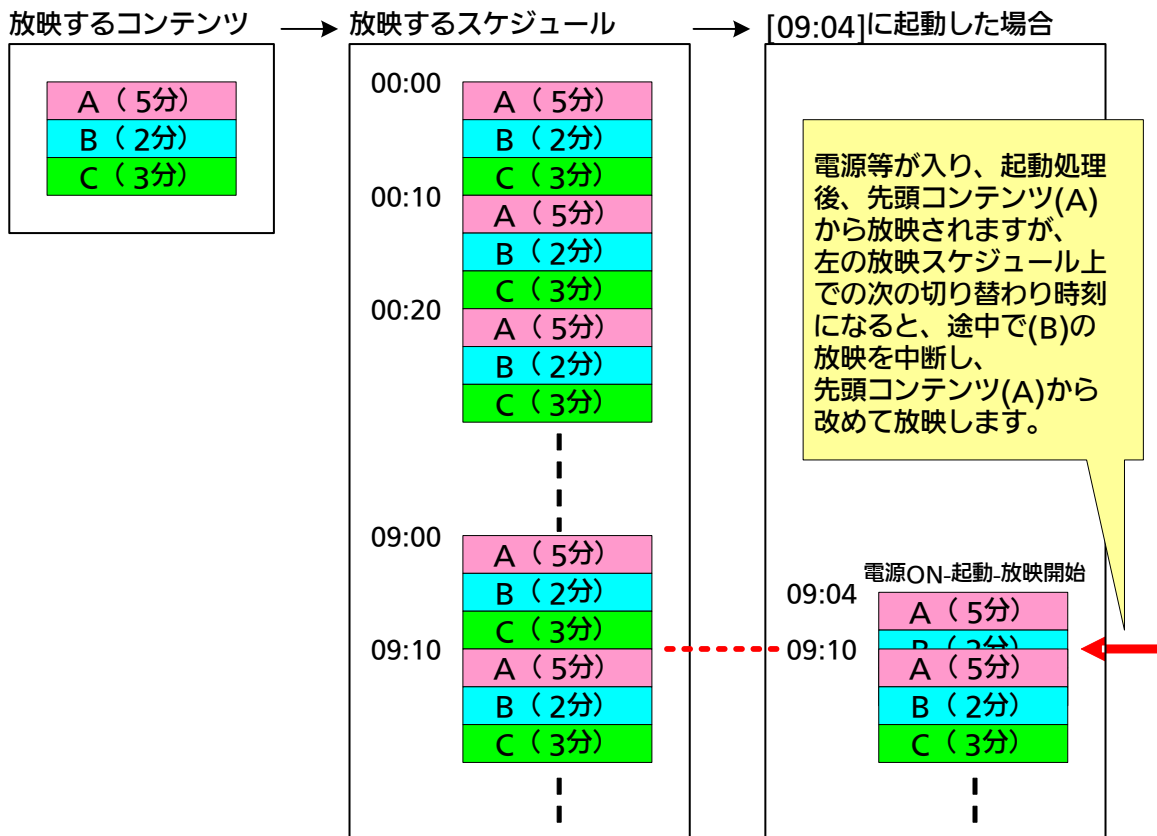
スタンドアローンで利用する（8）

■ コンテンツ更新後の初期放映について

スタンドアローンモードでの放映はDVDのループ再生とは異なり、内部的には放映時刻で管理されています。

例えば、USBディスクから登録されたコンテンツの合計放映時間が10分だとすると以下のように0:00から10分ごとのスケジュール放映になります。USBの抜き差しを行った場合や電源を起動する場合、初回の放映は先頭コンテンツから始まりますが、スケジュール放映時刻になると、それまでの放映を中断し、そこから改めて、先頭コンテンツから放映を開始します。

例)



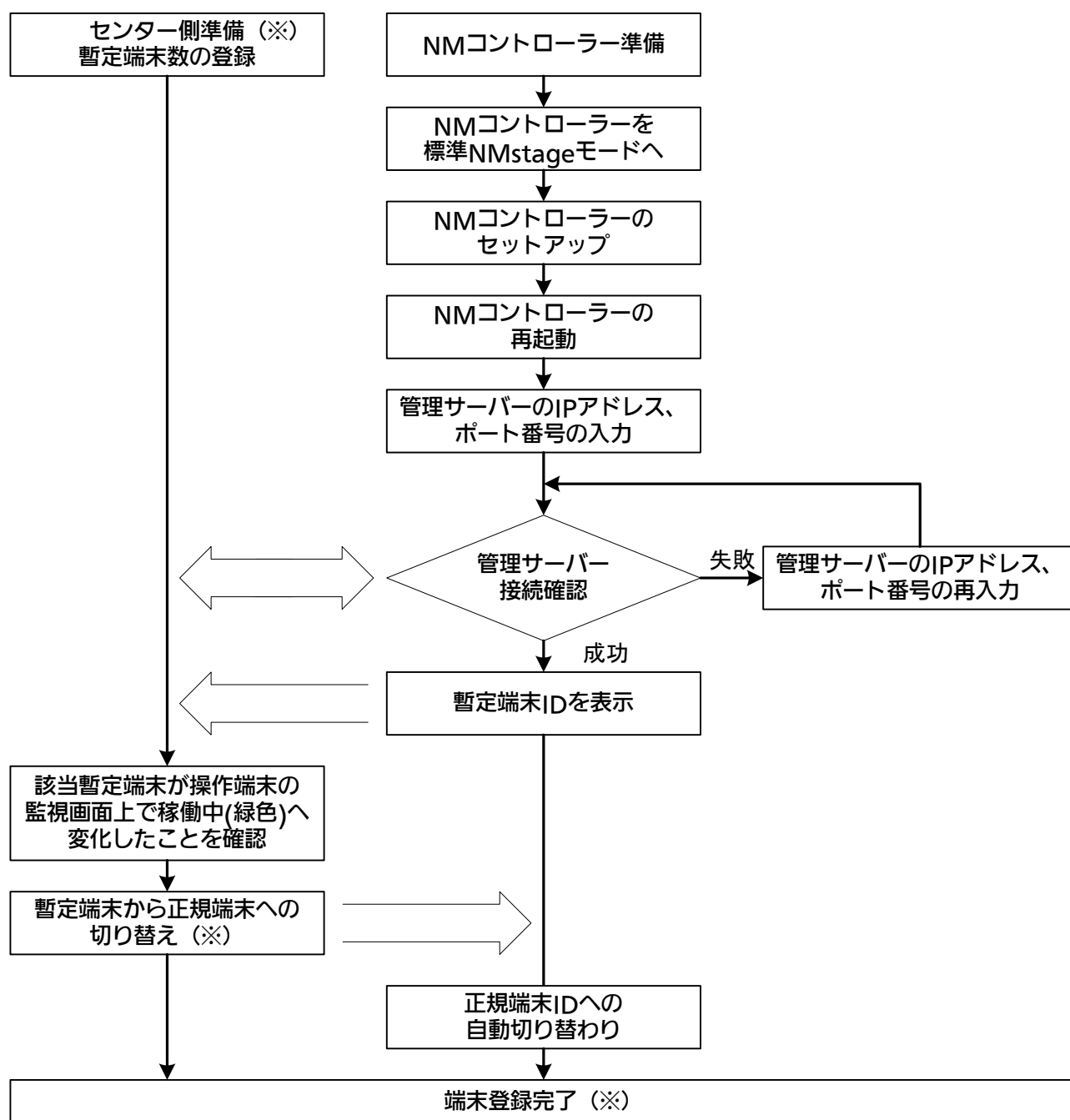
管理サーバーに登録して利用する（1）

NMコントローラーを標準 NMstage（管理サーバーあり）モードで使用する際の、使用方法について説明します。

標準 NMstageモードでは、自動コンフィグレーション機能を用いて、NMコントローラーを管理サーバー（NM-SVR）に接続、プレーヤー端末として登録することで利用可能になります。

■ 端末登録の概要

自動コンフィグレーション機能を用いた、端末登録の概要について説明しています。



※ センター側の作業内容については「管理サーバーソフト取扱説明書(インストール編)」を参照してください

管理サーバーに登録して利用する（2）

■ 自動コンフィグレーション

標準 NMstage モードでは、自動で NM コントローラーの動作環境の設定を行う自動コンフィグレーション機能が実行されます。

自動コンフィグレーション機能を利用すると、「暫定端末 ID」が付与され、暫定端末として管理サーバーとの接続を行います。その後、操作端末上から「正規端末 ID」への切り替えを実行し、正規端末として管理サーバーに登録されます。

尚、暫定端末の状態では以下の機能制限があります。

機能	暫定端末	正規端末
管理サーバーとの接続	○	機能制限なし
稼動監視	○	
コマンド配信	○	
各種管理情報の登録	×	
管理情報の配信処理	×	

以下の手順に従って、自動コンフィグレーション機能を実行してください。

STEP 1 ロック解除状態の場合、ロック処理を行います。

ロック処理の方法については、10ページの【[不正アクセス防止機能](#)】をご参照ください。

NM コントローラー再起動後、自動的に自動コンフィグレーション画面が起動します。



- 必ず、ロック状態で操作してください。
- ネットワーク設定を先に行っておいてください。

管理サーバーに登録して利用する（3）

STEP 2 管理サーバーの IP アドレスと、ポート番号を入力し、『設定』をクリックしてください。



- 管理サーバーの IP アドレスとポート番号はネットワーク責任者等にお問い合わせの上、事前に入手していただく必要があります。
- ポート番号のデフォルト値は「30435」です。

STEP 3 管理サーバーとの接続が完了すると、画面に管理サーバーから取得した暫定端末 ID が表示されます。

暫定端末IDを取得しました。
暫定端末ID: ZZZZ0001

STEP 4 表示された暫定端末 ID は、電話またはメール等を利用してセンター側に報告してください。センター側の操作端末上で正規端末 ID へ切り替え操作を行います。



- センター側の作業内容、正規端末 ID への切り替え方法については「管理サーバーソフト 取扱説明書（操作編）」をご参照ください。
- 暫定端末 ID は、ユーザコード「ZZZZ」固定、端末 ID「0001～0100」の 8 桁です。
例：ZZZZ0001、ZZZZ0100

ここまでの手順で NM コントローラーの登録は完了です。この状態で NM コントローラーを終了することも可能です。終了方法は 36 ページの【[■ 終了方法について](#)】をご参照ください。

管理サーバーに登録して利用する（4）

以降の手順は、センター側で正規端末 ID への切り替え操作を行った際の画面遷移となります。正規端末 ID への切り替え操作が速やかに行われる場合は、以降の画面遷移をご確認ください。

STEP 5 センター側の正規端末 ID への切り替え操作が完了した後、自動的に正規端末 ID および設定ファイルを取得し、正規端末 ID にて、管理サーバーと接続します。

正規端末ID及び設定ファイルを取得中です。

STEP 6 正規端末 ID および設定ファイルの取得が完了すると、以下の画面が表示された後、画面が全面黒の状態になります。黒画面が表示されれば、自動コンフィグレーション完了です。

正規端末ID及び設定ファイルを取得しました。

終了



- 上記画面はしばらくすると黒画面となり見えなくなります。

以上で NM コントローラーの暫定端末 ID から正規端末 ID への切り替えは完了です。

設定を変更する（1）

自動コンフィグレーション設定が正常に完了し、正規端末 ID が NM コントローラーに適用された後、端末の情報設定に変更が必要となった場合、以下の手順に従って設定を変更してください。



- NM コントローラーに接続されたキーボードおよびマウスが必要となります。

STEP 1 Windows のスタートメニュー → 「すべてのプログラム」 → 「NMstage」 → 「NM-PLR 設定変更」 を選択します。

STEP 2 パスワード入力画面ダイアログが表示されますので、パスワードを入力して、『OK』をクリックしてください。



- パスワードについては、販売店にお問い合わせください。

STEP 3 変更が必要となる情報のタブをクリックして、設定内容を変更してください。設定変更が可能な情報は以下のとおりです。

ユーザコードと ID	NTP サーバー情報設定	NM-SVR 情報設定
NM-ES 情報設定	NM-FTP 情報設定	NM-PLR 情報設定

設定を変更する（2）

STEP 4 入力した設定内容をシステムに反映する場合、「適用」をクリックしてください。確認ダイアログが表示されますので、『OK』をクリックしてください。



STEP 5 設定変更が完了した場合、『OK』をクリックしてください。確認ダイアログが表示されますので『OK』をクリックして、NMコントローラーを再起動してください。



- 設定を変更した後は必ず NM コントローラーを再起動してください。

設定を変更する（3）

以下に、設定変更ツールで変更が可能な情報と詳細について説明します。

■ ユーザコードとID

ユーザコードとIDの情報設定を行います。

NM-PLR 設定変更ツール

NM-SVR 情報設定

ユーザーコードとID | NM-SVR 情報設定 | NM-FTP 情報設定 | NTPサーバー 情報設定 | NM-ES 情報設定 | NM ◀ ▶

ユーザーコードとIDを入力して下さい。

？ ヒント:ライセンスは事前に入手する必要があります。

ライセンス:

ユーザーコード:

ID:

OK キャンセル 適用

設定を変更する（4）

■ NM-SVR 情報設定

NM-SVRの情報設定を行います。

以下を参考に必要な情報を変更してください。

- プライマリサーバー

NM-SVRの設定と一致させる必要があります。

入力項目	解説
サーバーID	NM-SVRのサーバーコードと端末IDを続けて入力
アドレス	IPアドレスまたはホスト名
ポート番号	NM-SVRと端末間の通信用ポート

- セカンダリサーバー

NM-SVRの設定と一致させる必要があります。

入力項目	解説
サーバーID	NM-SVRのサーバーコードと端末IDを続けて入力
アドレス	IPアドレスまたはホスト名
ポート番号	NM-SVRと端末間の通信用ポート

NM-PLR 設定変更ツール

NM-SVR 情報設定

NM-SVR 情報設定 | NM-FTP 情報設定 | NTPサーバー 情報設定 | NM-ES 情報設定 | NM-PLR 情報設定

NM-SVRに関する情報を入力して下さい。

ヒント: NM-SVRの設定と一致させる必要があります。

プライマリサーバー

サーバーID: SV010001 アドレス: 172.24.196.11 ポート番号: 30435 接続確認

セカンダリサーバー

サーバーID: SV990002 アドレス: ポート番号: 接続確認

OK キャンセル 適用

設定を変更する（5）

■ NM-FTP 情報設定

NM-FTPの情報設定を行います。

ポート番号を入力し、『追加』ボタンをクリックしてネットワーク帯域制限を追加します。削除する場合、削除したい行に黒い矢印を移動させて、『削除』をクリックしてください。ネットワーク帯域制限では、指定された時刻以降のネットワーク通信帯域の上限を定めます。NM-FTPはオプション機能です。

The screenshot shows the 'NM-FTP 情報設定' (NM-FTP Information Setting) dialog box. It has a title bar 'NM-PLR 設定変更ツール' and a sub-title 'NM-FTP 情報設定'. The main area contains a tabbed interface with 'NM-SVR 情報設定', 'NM-FTP 情報設定', 'NTPサーバー 情報設定', 'NM-ES 情報設定', and 'NM-PLR 情報設定'. The 'NM-FTP 情報設定' tab is active. Below the tabs, there is a message: 'NM-FTPに関する情報を入力して下さい。' followed by a hint: 'ヒント: 時間ごとに帯域制限を設定できます。'. There is a text input field for 'FTPサーバー ポート番号:' with the value '30437' and a '追加(A)' button. Below that is a table for 'ネットワーク帯域制限' with columns '時間(H:M)' and '帯域'. The table is currently empty. There is a '削除(D)' button to the right of the table. At the bottom, there are 'OK', 'キャンセル', and '適用' buttons.

■ NTPサーバー情報設定

NMstageで提供する時刻補正の機能を使用する場合は、「時刻補正の機能を使用する」にチェックしてください。時刻補正する対象を「NM-SVRと時刻補正」、または「NTPサーバーと時刻補正」から選択します。

後者の場合は、NTPサーバーのIPアドレスを入力してください。

The screenshot shows the 'NTPサーバー情報設定' (NTP Server Information Setting) dialog box. It has a title bar 'NM-PLR 設定変更ツール' and a sub-title 'NTPサーバー情報設定'. The main area contains a tabbed interface with 'NM-SVR 情報設定', 'NM-FTP 情報設定', 'NTPサーバー 情報設定', 'NM-ES 情報設定', and 'NM-PLR 情報設定'. The 'NTPサーバー 情報設定' tab is active. Below the tabs, there is a message: 'NTP(時刻補正)サーバーに関する情報を入力して下さい。' followed by a hint: 'ヒント: NTPサーバーがない場合は初期設定の値を適用して下さい。'. There is a checked checkbox for '時刻補正の機能を使用する'. Below it are two radio buttons: 'NM-SVRと時刻補正' (selected) and 'NTPサーバーと時刻補正'. Under the 'NTPサーバーと時刻補正' option, there are three rows of input fields for 'アドレス1:', 'アドレス2:', and 'アドレス3:', each with a 'ポート' field. The addresses are all '192.168.10.10' and the ports are all '123'. At the bottom, there are input fields for '補正周期(秒):' with the value '3600' and 'アクセスタイムアウト(msec):' with the value '1000'. At the bottom, there are 'OK', 'キャンセル', and '適用' buttons.

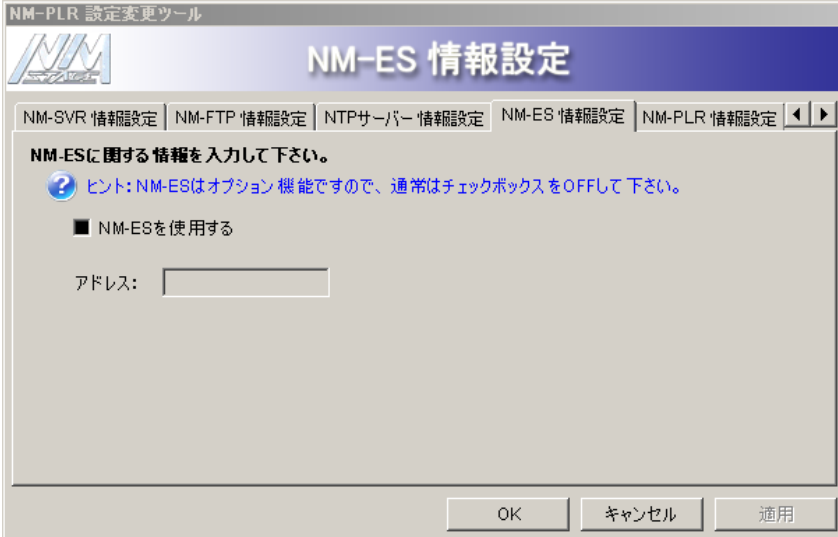
設定を変更する（6）

■ NM-ES 情報設定

NM-ESの情報設定を行います。

NM-ESへ接続する場合は、「NM-ESを使用する」にチェックし、アドレスを入力してください。

NM-ESはオプション機能です。



The screenshot shows a dialog box titled "NM-PLR 設定変更ツール" (NM-PLR Settings Change Tool) with a sub-tab "NM-ES 情報設定" (NM-ES Information Setting). The dialog contains the following elements:

- Navigation tabs: NM-SVR 情報設定, NM-FTP 情報設定, NTPサーバー 情報設定, NM-ES 情報設定 (selected), NM-PLR 情報設定.
- Instruction: "NM-ESに関する情報を入力して下さい。" (Please enter information related to NM-ES.)
- Hint: "ヒント: NM-ESはオプション機能ですので、通常はチェックボックスをOFFして下さい。" (Hint: NM-ES is an optional function, so normally turn off the checkbox.)
- Option: A checked checkbox labeled "NM-ESを使用する" (Use NM-ES).
- Field: A text input field labeled "アドレス:" (Address).
- Buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用" (Apply).

設定を変更する（7）

■ NM-PLR 情報設定

NM-PLRの情報設定を行います。

以下を参考に必要な情報を変更してください。

入力項目	解説
再起動時刻	1日1回、自動的に再起動する時刻
スケジュール更新時刻	1日1回、自動的に登録されたスケジュールを更新し、放映に反映する時刻
放映ログ転送時刻	1日1回、自動的に放映ログを管理サーバーに転送する時刻
動画コンテンツ表示の選択	動画コンテンツの再生方式。DirectShowのみ選択可能



- 24時間表記で入力してください。
- スケジュール更新の前後では放映が途切れる可能性がありますので、各端末の放映時間外、できるだけ早めの時刻にスケジュール更新が行われるように設定してください。再起動時刻、放映ログ転送時刻も同様に設定してください。
- 再起動時刻の設定は、配信の運用を考慮し、問題のない時刻に設定してください。

NM-PLR 設定変更ツール

NM-PLR 情報設定

NM-FTP 情報設定 | NTPサーバー 情報設定 | NM-ES 情報設定 | NM-PLR 情報設定

再起動時刻とスケジュール更新時刻を入力して下さい。

ヒント: 変更の必要がなければ、初期設定のままでも構いません。

再起動時刻: 4 : 0

スケジュール更新時刻: 3 : 0

放映ログ転送時刻: 3 : 0

動画コンテンツ表示の選択: Direct Show

OK | キャンセル | 適用

起動する・終了する（1）

NMコントローラーを手動で起動・終了する場合は、NMコントローラーの電源スイッチにて行ってください。電源スイッチはソフトスイッチになっております。終了する場合、電源スイッチを一度軽く押すと放映を中断し、OSのシャットダウンの後、NMコントローラーの電源がOFFになります。



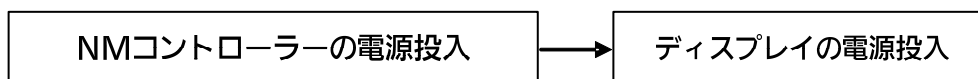
- ディスプレイの電源入り・切り、入力切り替え等の制御はできません。ディスプレイ付属のリモコンにて操作してください。
- スタンドアロンモードでの運用中、または、標準 NMstage モードで自動コンフィグレーション設定が完了した後の運用中に NM コントローラーを直接操作する必要はありません。
- また、1日1回再起動が行われ、各種動作環境がリフレッシュされますので、特に問題のない限り手動による電源のON/OFFは必要ありません。

自動再起動について

NMコントローラーは1日1回再起動します。初期値は4:00になっております。初期値以外の時刻を指定する場合には、販売店までご相談ください。

起動方法について

NMコントローラーの起動は以下の順序で行います。



STEP 1 NMコントローラーの電源を投入すると自動的にログオンが行われ、プレーヤーソフトウェアが起動します。

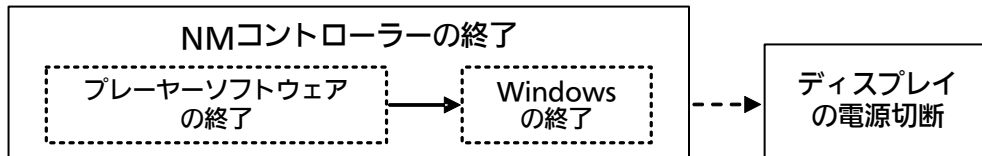


- センター側からリモートで NM コントローラーを起動することはできません。終了後に NM コントローラーをご使用になる場合は、起動方法に従って NM コントローラーを起動してください。

起動する・終了する（2）

終了方法について

NMコントローラーを終了させるには、以下の2通りの方法があります。



■ 電源スイッチによる終了

電源スイッチによるNMコントローラーの終了は以下の手順で行います。

STEP 1 NMコントローラーの電源スイッチを押してください。

プレーヤーソフトウェアが終了した後、Windowsが終了します。



- 電源スイッチを4秒以上押し続けると強制終了してしまいます。

■ キーボード操作による終了

キーボード操作によるNMコントローラーの終了は以下の手順で行います。



- NMコントローラーに接続されたキーボードおよびマウスが必要となります。

STEP 1 現在、動作しているプレーヤーソフトウェアを終了します。

プレーヤーソフトウェアを終了するには、キーボードの **Ctrl** + **Alt** + **E** を同時に押してください。



- 自動コンフィグレーションソフトウェアが起動している場合のソフトウェア終了方法については、7ページの【[■ スタンドアロンモードへの切り替え手順1](#)】をご参照ください。

STEP 2 画面が全面黒の状態になったら、マウスの左ボタンをダブルクリックしてください。

黒画面が解除されて、Windowsのデスクトップ画面が表示されます。

STEP 3 Windowsを終了します。

スタートメニューからWindowsのシャットダウン処理を行ってください。

マルチディスプレイ環境（1）

Eyefinityディスプレイグループの設定について

Eyefinityディスプレイグループの設定を行うことで、複数のディスプレイ画面全体を1つのデスクトップ画面として扱われるようにすることができます。

Eyefinityディスプレイグループの設定は以下の順序で行います。



- 設定を変更する場合、必ずロックを解除した後に実行してください。また変更後にはロックをしてください。ロックの解除およびロックの方法は、10ページの【[不正アクセス防止機能](#)】をご参照ください。
- マルチディスプレイ環境で運用される場合は、必ず、販売店にご相談ください。
- Eyefinityディスプレイグループの設定を行う場合は、各ディスプレイの画面解像度を全て同じ解像度に設定してください。
- マルチディスプレイ環境では、画面レイアウトによって、動画、テロップの再生品質に問題が発生することがあります。事前に表示品質をご確認の上でご使用ください。また、設定調整については、販売店にご相談ください。
- 付属の Mini DisplayPort to DVI 変換ケーブルでは、異なったメーカーまたは型番のディスプレイで3面以上の表示はできません。3面以上のディスプレイ接続をご検討の場合は、販売店にご相談ください。

STEP 1 現在、動作しているプレーヤーソフトウェアを終了します。

プレーヤーソフトウェアを終了するには、キーボードの **Ctrl** + **Alt** + **E** を同時に押してください。

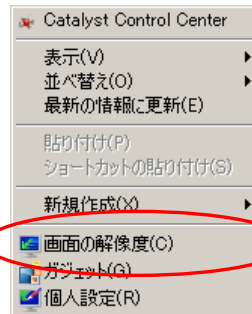
STEP 2 画面が全面黒の状態になったら、マウスの左ボタンをダブルクリックしてください。黒画面が解除されて、Windowsのデスクトップ画面が表示されます。



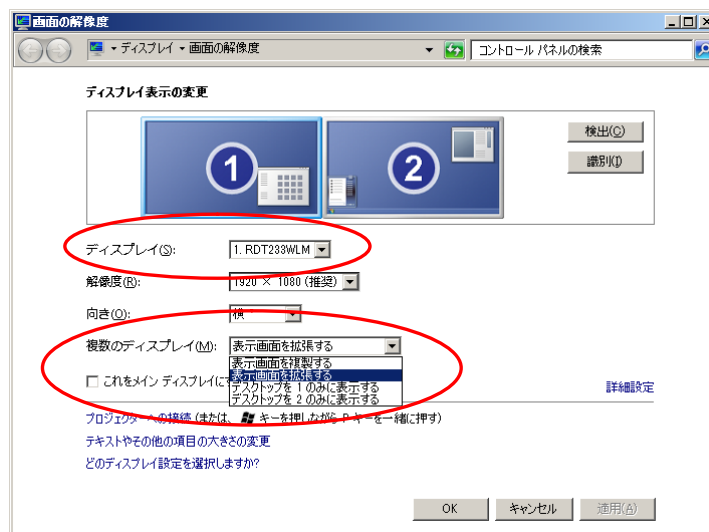
- 自動コンフィグレーションソフトウェアが起動している場合のソフトウェア終了方法については、7ページの【[スタンドアロンモードへの切り替え手順1](#)】をご参照ください。

マルチディスプレイ環境（2）

STEP 3 デスクトップ画面の右クリックメニューから「画面の解像度(C)」を選択してください。「画面の解像度」の設定画面が表示されます。



STEP 4 マルチディスプレイの設定を拡張モードに設定します。「ディスプレイ(S)」のリストから接続しているディスプレイを順番に選択し、「複数のディスプレイ(M)」のリストから「表示画面を拡張する」または「デスクトップを～に拡張する」を選択してください。全てディスプレイの設定が完了したら『OK』をクリックしてください。



- 各ディスプレイの解像度が異なる場合は、同じ解像度に合わせてください。

STEP 5 ディスプレイ設定の確認画面が表示されますので、『変更を維持する(K)』をクリックしてください。

マルチディスプレイ環境（3）

STEP 6 デスクトップ画面の右クリックメニューから「Catalyst Control Center」を選択してください。「Catalyst Control Center」の設定画面が表示されます。



STEP 7 設定画面の左メニューから「AMD Eyefinity™ マルチディスプレイ」→「Eyefinityディスプレイグループを作成」を選択してください。



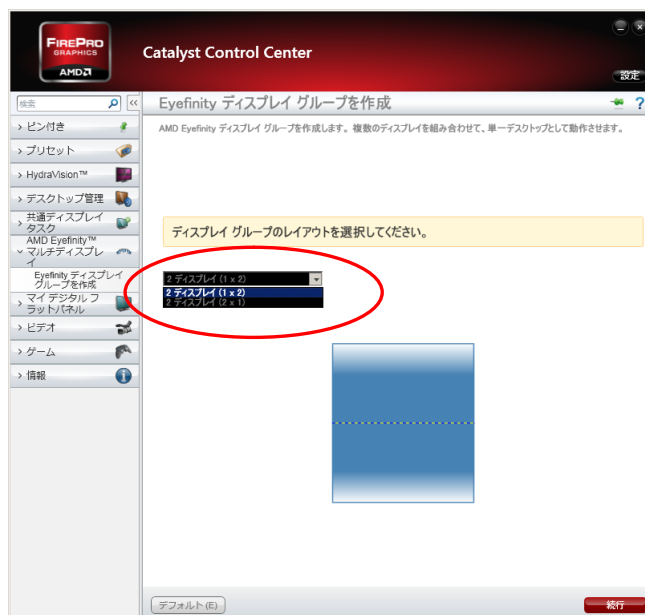
マルチディスプレイ環境（4）

STEP 8 ディスプレイグループの作成を開始したいデスクトップの番号を選択し、『続行』をクリックしてください。



- 表示されているデスクトップ番号とディスプレイの関連がわからない場合は、『すべて識別』をクリックして確認してください。
- 以降の設定画面は、選択したデスクトップのディスプレイ上に表示されます。

STEP 9 目的のディスプレイグループのレイアウトを選択して、『続行』をクリックしてください。



マルチディスプレイ環境（5）

STEP 10 ディスプレイ配置の設定を行います。『配置』をクリックし、画面の指示に従いディスプレイ配置の設定を行ってください。



STEP 11 『完了』をクリックして、設定を終了してください。

STEP 12 プレーヤーソフトウェアの設定情報を削除します。
以下の対象ファイルを削除してください。

対象ファイル：「D:¥NM¥DEF¥DisplaySizeChange.ini」

STEP 13 ロック処理による自動再起動の後、設定が正しく反映されていることを確認してください。



- Eyefinityディスプレイグループの設定を解除したい場合は、設定画面の左メニューから「AMD Eyefinity™ マルチディスプレイ」→「Eyefinityディスプレイグループを無効にする」を選択してください。この際、「画面の解像度」設定が「表示画面を拡張する」から変更されていることがあります、再度、Eyefinityディスプレイグループの設定を行う場合は、「表示画面を拡張する」に設定を戻してください。

困ったときには

本装置をご使用中に「おや？おかしいな？」と思ったら、故障と考える前にまず次のことを調べてみてください。

それでも解決しない場合は販売店にお問い合わせください。

現象	原因・対策
ディスプレイ（FPD）に何も表示されない	ディスプレイの電源がオフになっているか、ディスプレイケーブルが外れている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">●ディスプレイの電源スイッチを押して、電源を入れるか、接続ケーブルを確認してください。●ディスプレイ（FPD）の入力選択が正しく選択されているか、確認してください。
	ディスプレイの解像度設定が正しくない可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">●本機の解像度は、初期状態で1920x1080に設定されています。この解像度に対応したディスプレイに接続するか、14ページの【画面解像度の変更】、37ページの【マルチディスプレイ環境】を参考に、画面解像度の設定を変更してください。●拡張、クローンディスプレイモードには対応していません。解像度の設定を確認して、拡張、クローンディスプレイ設定になっている場合は、設定を変更してください。
	スケジュールが設定されていない可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">●操作端末上で放映スケジュールが設定されているか、確認してください。●スケジュールを更新した場合は、再度配信して、スケジュール更新を行ってください。
映像の左右に黒がある	ディスプレイ（FPD）の表示サイズが正しく選択されているか確認してください。
映像が赤紫色がかっている	ディスプレイ（FPD）の入力設定で、RGB入力ではなく、色差信号（YPbPr）が選択されている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">●ディスプレイのマニュアル等をご確認の上、正しく設定しなおしてください。

困ったときには（つづき）

現象	原因・対策
NMコントローラーから音声がでない	NMコントローラーの音量が0か、またはミュートに設定されている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">●ミュートを解除し、音量を聞こえるレベルまで上げてください。●外部スピーカを使用している場合は、接続されているケーブルの状態と、アンプやディスプレイの音量設定を確認してください。
画面が青色になり、白文字の英数字のメッセージが表示される	NMコントローラーOSが異常停止しています。 <ul style="list-style-type: none">●NMコントローラーを再起動してください。
正規ID付与後、端末が起動しているが、操作端末上の端末監視では稼働中の状態にならない	端末に設定された管理サーバーのIPアドレスまたはポート番号が異なっている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">●プレーヤー端末の設定変更ツールを起動して、設定されている管理サーバーのIPアドレスとポート番号を確認して、正しい値に変更してください。
	ネットワーク障害が発生している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">●ネットワークが疎通されていることを確認してください。
コンテンツ、スケジュールを配信することができない	<ul style="list-style-type: none">●ネットワークが疎通されていることを確認の上、再度配信を行ってください。●操作端末上でFTPサーバーの設定をご確認ください。
ディスプレイの制御ができない	パナソニック製ディスプレイ（FPD）以外の制御はサポート範囲外です。ディスプレイの制御関連の仕様書を入手した上で、販売店へご相談ください。※有償にて対応可能な場合があります。

主な仕様

項目	仕様	
CPU	Intel® Core™ i5-2510E 3.10 GHz	
メモリ	4 GB (DDR3-1333) *1	
ビデオ	ATI FirePro™ 2460 (512 MB GDDR 5) *2	
ハードディスク	500 GB (SATA 2.5型 HDD)	
インターフェース	シリアル	2ポート RS232C (D-Sub 9 pin)
	ビデオ *2	4ポート Mini DisplayPort (20 pin) *5
	オーディオ	1ポート Line-out (ステレオミニジャック) 他
	LAN	2ポート RJ-45 *3
	キーボード	1ポート PS/2 キーボード専用 (6 pin ミニ DIN)
	マウス	1ポート PS/2 マウス専用 (6 pin ミニ DIN)
	USB	4ポート USB2.0 / 1.1
拡張スロット *6	1ポート PCI Express x16 (LowProfile 専用)	
出力解像度	最大 : 1920 x 1080 (32 bit) *4	
電源	電源条件	AC100 V ±10 % (50 Hz / 60 Hz)
	消費電流	1.0 A (100 V)
	消費電力	100 W
搭載 OS	Microsoft® Windows® Embedded Standard 7 プリインストール	
プレーヤーソフトウェアバージョン	NMstage プレーヤーソフトウェア Ver 3.2	
外形寸法	282 mm (W) x 298 mm (D) x 65 mm (H) (突起部、ゴム足部除く)	
質量	約 4.0 kg	
使用環境条件	温度 : 5 °C ~ 40 °C 湿度 : 20 % ~ 90 % (結露なきこと)	
仕向地	日本国内専用	

主な仕様（つづき）

- *1 WindowsOS(32 bit版)の仕様により、実際に利用できるメモリサイズは、3 GB程度になります。
- *2 本製品では、「アナログ RGB」および「DVI-I」ディスプレイポートは、使用いたしません。
- *3 各ポートとも 1000Base-T/100Base-TX/10Base-Tに対応しています。別々のコントローラチップ (Intel、REALTEK)を使用しています。
- *4 NM コントローラーとしてのシングルディスプレイ時の最大サポート解像度です。コンテンツの表示には制限があります。
- *5 増設グラフィックボード(ATI FirePro 2460)のビデオ出力ポートになります。
- *6 本製品では、増設グラフィックボード(ATI FirePro 2460)が占有しています。

対応コンテンツ仕様

分類	種別	データ形式	参考値・留意事項
通常	動画 ^{*1*8}	MPEG1	アスペクト比 : 4:3 エンコードレート : 1.2~1.5 Mbps
		MPEG2	アスペクト比 : 4:3または 16:9 オーディオ : 44.1 kHzまたは 48 kHz エンコードレート : CBR 8 Mbpsまで ※MPEG2-TSには対応しておりません
		MPEG2 HD	MPEG2-HDには対応しておりません。 ^{*7}
		Windows Media (WMV)	アスペクト比 : 4:3または 16:9 オーディオ : 44.1 kHzまたは 48 kHz エンコードレート : CBR 3 Mbpsまで ※アドバンスドコーデックには対応しておりません ^{*2}
		Windows Media HD (WMV HD)	アスペクト比 : 4:3または 16:9 オーディオ : 48 kHz エンコードレート : CBR 10 Mbpsまで ※アドバンスドコーデックには対応しておりません ^{*2}
	静止画	BMP、 JPEG	BMP : Windows BMPフォーマット JPEG : JPEGフォーマット
	HTML/URL ^{*3}	HTML	Internet Explorer 8にて表示可能なもの
	アニメーション	Flash	Adobe Flashにて制作したもので、 Flash Player 11で動作するもの ^{*4}
パワーポイント	PPS	スライドショー形式(.pps)で保存したもの ^{*4, *5}	
テロップ ^{*6*8}	文字	テキスト	半角 2,000 文字 まで
	背景	BMP、 JPEG	フレーム内にオリジナルサイズで繰り返し表示 ※静止画コンテンツのフォーマットに準拠

対応コンテンツ仕様（つづき）

- *1 参考値内の動画であっても、全ての再生を保証するものではありません。エンコード条件などにより、正しく表示できない場合もあります。NMコントローラーでの再生確認を行ってください。
- *2 [WMVA、WVC1]などの Advanced Profile コーデックには対応していません。
- *3 スタンドアロンモードでは、「HTML/URL」コンテンツには対応していません。
- *4 動きの激しいコンテンツなど、CPUに高い負荷をかけるコンテンツは再生できないことがありますので、スケジュール作成の前に表示状態の確認を行い、問題がある場合は、負荷軽減や WMV へのフォーマット変換などをお願いします。
- *5 全画面表示のみとなります。パワーポイント 2007 スライドショー形式(.ppsx)には対応していません。
- *6 スタンドアロンモードでのテロップ使用時は、背景色は黒、文字色は白の固定となります。
- *7 標準状態では、MPEG2-HD(720P以上)には対応していません、MPEG2-HDの使用をご検討されている場合は、販売店にご相談ください。
- *8 マルチディスプレイ環境では、動画、テロップの表示品質が悪くなる場合があります。事前に表示品質の確認を行った上でご使用ください。また、設定調整については、販売店にご相談ください。

■当社製品のご購入・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリー
ダイヤル  **0120-878-410**

受付時間：9時～17時30分(土曜・日曜・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。

また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。

なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2012

V3.20R00